

ICT機器を活用した授業についてのアンケートの結果から

① スライドの長文はどのような形態がいいか

50%が構造ごとに分かれているものがいいと回答。スライド作成の負担を減らすためには長文をそのまま載せる形がいいが、視覚的には見やすいほうが生徒の理解を助けることがわかる。今年度は段階的に「全ての情報を載せる」→「構造ごとに分かれる」→「長文そのまま」と切り替えた。

② スライドは切り替わると前の情報が消えるので〇〇の情報が残るといい

スライドを用いているとホワイトボードの一部分しか使っていないことがわかる。熟語などの表現を残してほしいという意見が多く、次いで解説内容であった。意外に少ないのは単語の情報であった。

③ 授業で見ているだけにならない自分なりの工夫はありますか

- ・自分が当てられなくても答えを考えたり、本文に書き込んだりする。
→受動的にならず、能動的に授業に臨んでいる姿勢が分かります。
- ・先生が言葉で言うだけで書き込んでいないことも必要な時にメモを取る。
→このスキルは非常に大切なものですが、恐らくオンライン授業時に身に付けたものが多いと思います。
- ・先生の解釈と自分の解釈を照らし合わせながら聞く（数字などで外面的に表現できるものではありませんが、生徒の思考がめぐらされていることに気がきます）
- ・分からなかったことを解説されたら、自分も頭の中でもう一度訳し直したり書き込んだりする。
- ・予習をきちんとして、授業で深く理解する。
- ・予習の段階で自分がよく分からなかった部分を明確にしておく。
- ・書かれた内容を拾い上げること。
- ・聞かれそうなポイント（代名詞など）を先に考えて書き込んでおく。
- ・積極的にペアで交流する
→今年度はグループ学習が多く取り入れられませんでした。ペアでのひっそりとした交流は活動として取り入れました。気分転換にもなり、解説した内容が書きこめていない生徒へ時間を与えることもできました。アンケートでも多くでてきて、生徒からは好評で、積極的に反応することや思考することへの前向きさが分かります。解説ばかりしていると生徒の顔を見ることができませんが、ここから答えを引き出すこともできるので、slow learnerにも優しい活動だと考えています。

④ 長文読解について、教師に何か知らせておきたいことはありますか

- ・もっと色々なジャンルの文章をたくさん読みたい。
→同じような意見がたくさんありました。読むことを楽しんでいる姿勢が分かり、嬉し

い結果です。

- ・ プロジェクタに本文を映すと先生が文を分解していく過程が分かりやすい。
→ 授業者の思考の過程が生徒に伝わっていることが分かります。